

議会だより

56号

2013年12月定例議会

題字：佐久川政洋（古堅南小学校4年生）

議員一般質問（18名）…………… 8

みんなが輝いた学芸会（村内5小学校）



喜名小学校



渡慶次小学校



古堅小学校

読谷小学校

古堅南小学校



平成25年 第425～426回 臨時・定例会 議決結果賛否一覧表

件名	議決結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		氏名	知花徳栄	比嘉郁也	仲宗根盛良	伊波篤	富山勝吉	大城行治	富間良史	上地利枝子	山城正輝	城間勇	嘉手苧林春	津波古菊江	山内政徳	長浜宗則	照屋清秀	上地栄	伊佐眞武	國吉雅和	新垣修幸
第425回 臨時議会																					
平成25年度読谷村一般会計補正予算(第4号)	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第426回 定例議会																					
平成25年度読谷村一般会計補正予算(第5号)	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度読谷村診療所特別会計補正予算(第3号)	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度読谷村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度読谷村下水道事業特別会計補正予算(第4号)	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
読谷村自治基本条例	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
読谷村附属機関に関する条例の一部を改正する条例	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
読谷村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
読谷村選挙公報の発行に関する条例	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度村道中央残波線整備工事請負契約の変更について	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
物品供給(X線撮影装置購入)契約について	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
物品供給(海浜海岸等環境美化推進事業(ビーチクリーナー)購入)契約について	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
旧小糸製作所跡の活用について(要請)	継続審査		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
安倍政権と自由民主党による米軍普天間飛行場の県内移設強行に強く抗議し、撤回を求める意見書	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特定秘密の保護に関する法律の参議院での強行可決に強く抗議し、同法の廃止を求める意見書	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
道州制導入に断固反対する意見書	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

閉会中の継続調査申出について

- 総務常任委員会
 - ・読谷村定員適正化計画に関する調査について
- 文教厚生常任委員会
 - ・読谷村診療所の医療機器の活用状況について
- 建設経済常任委員会
 - ・読谷村の総合的な交通体系について

※議案賛成者は○とし、反対者は×とします。退席者は－、欠席者は欠としています。議長は採決に加わらないため、斜線としています。法律により、採決に加われない議案については、除と表現しています。

補正事業内容

12月定例議会補正額 **一般会計**

5億9,049万4千円追加

主な事業

- * 行政事務運営事業 備品購入(AED) — 850万5千円
- * 重度心身障害者(児)医療費助成 — 751万5千円
- * 土木費 村道残波線他 — 4,812万1千円
- * 都市公園整備 — 298万8千円
- * 学校建設費(小学校校舎耐震事業) — 8,271万円
- * 学校管理費(中学校施設修繕他) — 601万9千円
- * 体育施設費(多目的広場照明取り替え) — 7,118万5千円

他

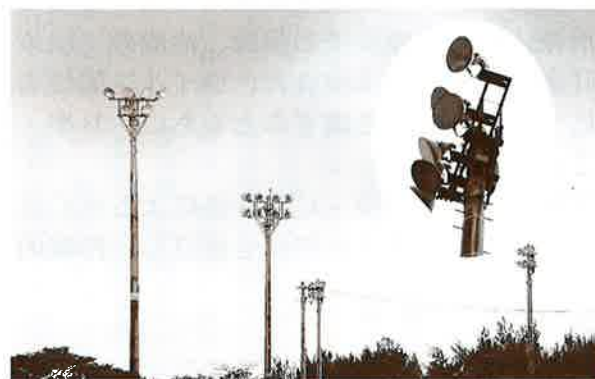
各字公民館へAED設置



都市公園整備



古堅中学校へカーテン設置



多目的広場照明取り替え

抗議決議・意見書

安倍政権と自由民主党による米軍普天間飛行場の県内移設強行に強く抗議し、撤回を求める意見書

第426回

可決

読谷村議会は、村民、県民の生命、財産、安全、教育環境を守る立場から、安倍政権と自由民主党本部に対し、沖縄県民の総意を愚弄する米軍普天間飛行場の「県内移設」の強行に満身の怒りを込めて抗議し、その撤回を強く要求する。

あて先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄防衛局長、自由民主党本部

特定秘密の保護に関する法律の参議院での強行可決に強く抗議し、同法の廃止を求める意見書

第426回

可決

読谷村議会は、同法に国民の8割が慎重審議を求めているにもかかわらず、参議院での強行可決に対し憤りをこめて抗議するとともに、同法の廃止を強く要求する。

あて先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、少子化対策担当大臣

道州制導入に断固反対する意見書

第426回

可決

我が読谷村議会は、道州制の導入に断固反対する。

あて先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣

B型肝炎C型肝炎患者の救済に関する意見書

第426回

可決

国におかれては、肝炎対策基本法に基づいて、医原病によるB型・C型肝炎患者を救済するため、下記の事項について速やかに必要な処置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1、肝炎対策基本法に基づき患者救済に必要な法整備、予算化を進め、B型・C型肝炎患者に対する適正な救済策を実地すること。
- 2、肝炎治療薬、検査費、入院費等の肝炎治療費への公的支援制度を確立するとともに、肝硬変、肝がん患者への特別な支援策を講じること。
- 3、治療体制・治療環境の整備、治療薬・治療法の開発、治療の迅速化などを図ること。
- 4、肝炎ウイルスの未検査者、ウイルス陽性者の未治療者の実態を調査し、早期発見・早期治療につなげる施策を講ずるとともに、B型・C型肝炎への偏見差別の解消、薬害の根絶を図ること。
- 5、医原病であるB型・C型肝炎による死亡者には一時金を、感染者・患者には健康管理手当・支援金を支給する法制度を確立し、持続的に治療を受け続けられる環境を整備すること。

あて先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、法務大臣、厚生労働大臣

総務常任委員会

1 調査事件

村税の徴収実績と体制強化について

2 調査委員 委員長 伊波篤、副委員長 當間良史、委員 比嘉郁也、仲宗根盛良、城間勇、上地榮

3 調査の経過

平成25年4月17日 説明委員

税務課長 小橋川清弘 担当職員 伊佐竜一

平成25年5月16日 西原町役場

総務部長 屋良朝則 税務課長 花城清紀

徴収・係長 麓直樹 徴収係主事 渡嘉敷唯史

議会事務局議事係長 新川高志

平成25年5月31日 説明委員

税務課長 小橋川清弘 担当職員 伊佐竜一

平成25年7月17日 説明委員

副村長 池原栄順 総務企画部長 儀間敏光

平成25年8月16日 まとめ



4 調査の結果及び概要

自治体運営における村税は歳入における最も重要な財源である。徴収率低下は自治体が自由に使える自主財源の減につながり、住民サービスに影響を及ぼすものである。

市町村財政の立て直しに向けた取り組みにおいても徴収率の向上が議論されるなど、各方面で税の徴収事務の重要性が叫ばれており徴収強化を前面に押し出した事務の改善、組織の見直し、その他さまざまな取り組みや努力が行われている。税負担の公平性の確保や税務行政全般にわたる信頼確保も含め、適正な税務事務の執行が求められている。

県内の市町村税徴収率において上位にある西原町と本村の現状を比較し調査した。西原町では差し押さえ業務を4名の職員で区分けされ実施している。すべての滞納者にたいして一律に滞納処分をするのではなく、滞納状況に応じた効率的かつ的確な対処がなされている。

また、人材派遣センターより電話催告要員として2名が活用されていることは、本村においても検討すべき事と思う。さらには、県税OBを嘱託職員として3年間活用し、現場での実践や、滞納整理の具体的な手法が伝授され、その成果も大きなものが確認できた。本村でも県税OBなどの有効活用は実践できないか、研究、検討すべきでないか。

多くの市町村が税の徴収事務強化掲げ、組織として創意工夫を凝らし、多様な手法を用いて税込確保にむけた取り組みを行っている。本村も例外ではないが、地域住民との関わりが深いため、滞納処分などに積極的に踏み込めない状況がある事が確認できた。

税負担の公平性の確保や税務行政全般にわたる信頼確保も含め、適正な税務事務の執行の為、徴収事務件数に見合った人員の確保が出来ているか検証の余地がある。なかでも滞納処分にたずさわる人員体制は複数人で編成を行い、横の連携強化が求められる。

市町村の徴収事務職員は「税務の専門職」ではなく、一般行政職であるため、徴収業務のノウハウの継承が容易でないといわれるなか本村においてはコザ県税事務所と連携を密にするのと同時に職員のスキルアップを図るため研修等を積極的に導入していることは評価できる。

最後に、納税は国民の義務であり悪質な滞納者に対しては、納期内に納税している大多数の納税者との公平性を意識し、毅然とした姿勢で取り組むべきである。

5 本村として参考にするべき事項

- ・債権の管理の適正を期するため「債権管理条例」が制定されている。
- ・人材派遣センターより電話催告要員として2名採用し効果を上げている。
- ・職員1人に滞納情報等を管理できるパソコンが割り当てられている。
- ・差し押さえの業務で4名の職員が配置されている。
- ・県税OBを嘱託職員として3年間採用されている。
- ・徴収率の数値目標を設定している。

文教厚生常任委員会

認可保育園の現状確認

認可された保育園（きりん保育園、咲く原保育園、南古堅保育園）の現状確認を行う。

調査委員 委員長 長浜 宗則、 副委員長 津波古 菊江、
委員 照屋 清秀、上地 利枝子、山内 政徳、國吉 雅和

調査の経過 平成25年10月29日（火）

きりん保育園、咲く原保育園、南古堅保育園の現場確認

◎きりん保育園

- ①経営体 特別非営利活動法人（NPO）
- ②定員 90名
- ③保育士 16名（障害保育児の加配職員1名含む）



◎咲く原保育園

- ①経営体 学校法人
- ②定員 60名
- ③保育士 13名



◎南古堅保育園

- ①経営体 社会福祉法人
- ②定員 90名
- ③保育士 14名

調査の結果及び概要

今回、読谷村は待機児童解消のため新規に3園を認可し、240名の定員増が図られたことに対し評価をいたします。9月末現在の読谷村の待機児童は7名との報告であります。それぞれの園では特色ある保育目標を掲げ、日々の努力に対し熱意を感じられました。給食におけるアレルギー対策もきめ細かく対応しているとの各園からの報告でした。また、保護者からの意見や要望にもしっかりと対応されていました。

3園とも定員を増やす環境はあるが保育士の確保が非常に厳しいとの報告でした。

また、職員の産休の代替も確保できない状態であるので、保育士の人材バンクの設立の要望がありました。

認可外保育園の現状と課題について

調査の経過 平成25年11月15日（金）

すばんじ・まむ、すこやか保育園、わんぱく楽園の現場確認

調査の結果及び概要

読谷村の保育を支えている認可外保育園が今、大変厳しい経営を強いられている現状が見えてきたように思えました。村立保育所、認可保育園に入所できない子ども達を受け入れ、午後6時以降の保育に応じ、学童保育にも率先して取り組んできた認可外保育園が保育士確保、人件費等の対応に苦境の中にあり、認可保育園との処遇の差が保育経営に影響をおとっています。3園とも行政の現在の支援以外に人件費の支援を強く願っており、ある園はとにかく運営が厳しく閉園も検討している状況で、宮古島市が取り組んでいる固定資産税の免除の要望もいただきました。代替え職員を派遣して欲しいとの要望もありました。

ゼロ歳児入所の問い合わせが多くお断りしている現状から、村立保育所でゼロ歳児の受け入れを増やす事はできないかとの意見もありました。後継者も育っているので認可保育園に移行したいと要望する保育園もあり、認可外保育園に対する行政のさらなる施設改善費、運営費の支援を求めます。

建設経済常任委員会

1 調査事件

本村の農業振興地域について

2 調査委員 委員長 大城行治 副委員長 伊佐眞武

委員 知花徳栄 當山勝吉 山城正輝 嘉手苺林春

3 調査の経過

平成25年1月30日

・読谷村の農業について

説明員 読谷村農業委員会 会長 山内昌茂、事務局長 福地政勝

平成25年4月16日

・農村整備推進地域の袋地箇所現場視察

説明員 農業推進課 課長 比嘉憲友、農村整備係長 久貝 斉

平成25年7月23日

・読谷村の土地利用について

参考人 ⑭地域計画研究所

代表取締役 田島利夫

平成25年10月28日 講演会

・読谷村における農業展開の方向

講師 琉球大学名誉教授 仲地宗俊

平成25年11月21日 まとめ



4 調査の結果及び概要

読谷村の農業振興地域は1,556haで、その中で農用地面積616ha（平成19年4月総合一部見直し）である。都市計画地域については村全体が指定され、その中で都市計画用途地域は、588ha（平成24年4月1日）となっている。農業振興地域内の農用地面積616haのうち266haが土地改良済であり、並行して、長浜ダム（県営かんがい排水事業）の整備も進められ基盤整備事業も着実に進んでいる。一方で、農業従事者の高齢化や将来の担い手不足等深刻な問題も抱え、耕作面積も小さいなど零細農家が多い。

しかし、琉球大学名誉教授の仲地宗俊氏によると、農業は6次産業化の視点で新たな展開が進みつつある。読谷村は、6次産業化の素材が多く農業生産の技術、生産物の加工・販売における蓄積も豊富である。農業展開の方法として6次産業化による地域づくりも大きな可能性があるのではないかとの見解である。村当局は認定農家の育成とともに6次産業化のさらなる推進を図るべきである。

一方で、農地転用については優良農地の確保を図る観点から、農地転用許可基準が改正され、厳格化が図られている。（平成22年6月1日以降）

しかし、農振農用地の見直しの際など、単に法制度だけの運用だけではなく、住民とのコンセンサスを村民参加のもとで粘り強く図る努力も必要である。宅地開発を含め土地活用において、問題が絶えないのは、村民の農地への理解が十分ではないこと、住環境施策が充実してない事も理由の一つであると委員からの意見もある。

今回の調査では、村内外の有識者から様々な視点で教示していただいた。

委員会として本村農業をさらに考える契機になったものとする。農業振興のために具体的な提言ができるように今後も関心を持ちたい。



仲宗根盛良

一 行政評価システムについて

問 本村の財政強化と行政経営を効率的に行うためにも、行政評価システムを導入すべきではないか。

答 本村でも行政評価の導入を進める方向で取り組んでいます。

問 導入によって、予算編成にも不要不急の選択が容易にできると思うが。

答 村民のニーズや成果と効率性を主に評価の対象としていくので、有効活用が期待できる。

二 障害年金の手続き対応について

問 障害年金の手続きは障

害の発病と認定日に関し、納付要件があります。その要件の説明を求める。

答 納付要件は、国民年金を①初診日の属する月の前々月までの一年間で三分の二

以上の納付があること。又は、②初診日の属する月の前々月までの一年間に未納がないことです。

問 70区画のうち平均で62区画が活用され、野菜などを栽培し、自然と触れ合い、これからも村民がリフレッシュ出来るように努める。

三 子ども議会の有効活用について

問 子ども議会の教育的意義から、身近な生活と政治

を生きた社会的教材として活用するためにも導入を再検討すべきではないか。

答 校長・教頭からは厳しいという意見もありますが、重要性は共通認識できるので、現場とも時間をかけじっくり協議を重ねたい。

四 村民リフレッシュユース園について

問 これまでの成果とこれからの有効活用を伺いたい。

問 南部地域にも同施設を増設する計画はないか。

答 村全域から利用されており、南部地域については必要性も含め検討したい。

問 戦争を生き延びてきた人達の心を歌った歌碑として、楚辺ユウバンタ近くに建立され、戦後の沖縄の反戦歌とも言われ、多くの県民に平和と人権の大切さを訴えている。楚辺区民としても強い要望があり、村有地の下水処理場敷地が有効活用できないか。

五 「艦砲め喰えー残さー」歌碑隣の駐車場の有効利用について

問 戦争を生き延びてきた

楚辺ユウバンタ近くに建立され、戦後の沖縄の反戦歌とも言われ、多くの県民に平和と人権の大切さを訴えている。楚辺区民としても強い要望があり、村有地の下水処理場敷地が有効活用できないか。

答 本村には「チビチリガマ」をはじめ平和教育の発信拠点として活用連携しており、同歌碑も重要な場所として、あらゆる立場から検討を進めたい。



「艦砲め喰えー残さー」石碑

六 第六回村民功労表彰式典について

問 二部形式になった理由。

答 より快適でスムーズに祝賀会を開催する為です。

問 案内状等には、表彰される名簿も添付した方が良くないか。

答 いろいろと検討を進めていく。



上地 榮

一 第4回ワールド王修会沖縄小林流空手道古武道連盟世界大会の開催状況とその成果について問う。

答 沖縄伝統文化の継承発展とスポーツツーリズムの推進の観点から同大会の受け入れを承諾した。大会は8月12日〜18日の7日間に

かけて実施され、海外13ヶ国から競技者190人、関係者130人、合計320人が参加された。成果として、本村の認知度のアップと約千八百万円の経済効果があった。今後は多流派の大会についても趣旨を踏まえ、手伝える。

メリットは

答 スケジュールについては平成26年度でシステム更新をし、平成27年度から個人番号カードの交付業務を行う。メリットとして、住民情報や税情報、社会保障制度の個人情報が一元化され、住民にとって諸申請等が統一した番号を使用することにより、簡単になる。デメリットとしては、個人情報の漏えい等の心配がある。

三 本村の学力向上について

問 平成25年度学力テストの結果は。

答 小中学校とも全国平均には達していない。県平均においては小学校が全体的に下回り、中学校は全体的に上回っている。

問 過剰部活の対策は。

答 読谷村児童・生徒の健全な成長を育むプロジェクトの確立を踏まえ、指導を徹底する。

二 平成25年5月に成立した「マイナンバー制度」について、今後のスケジュールとそのメリット・デメリット

問 学力向上対策は。
答 学力向上推進校の指定、予算の配分、実践報告会の開催、各部会を組織して取り組んでいる。

問 開始年度から今日までの受診率は。
答 平成24年度から開始している。75歳の対象者が3千909人でワクチンを接種した人が429人で接種率は約11%。

四 本村の長寿率と長寿対策について問う

問 県内市町村の個人負担金は。
答 中部地区医師会で決められたワクチン接種料金は7千800円となっている。個人負担額4千800円が4カ所、3千800円が3カ所、2千円が1カ所、個人負担額が0円が2カ所になっている。

答 平成22年度の平均寿命の調査によると、男性が75歳(22位)、女性が88歳(8位)である。長寿対策として「健康づくり村民会議」で取り組んでいる。

五 本村の公共施設の数と耐震化率について問う。

答 主な公共施設は82棟あり、その耐震化率は89%になっている。82の公共施設の内、災害時の避難場所は54箇所になっている。

六 肺炎球菌予防接種事業について



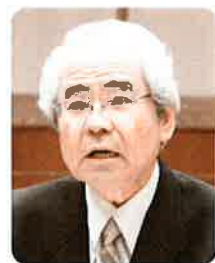
補助額を現在の3000円から4500円にアップを!

肺炎はもう、他人事じゃない。

元氣な今こそ、肺炎は、日本人の死因第3位。95歳以上では、65歳以上こそ、予防です。

問 予定している公共建築物について

答 「地域振興センター」は、ファーマーズマーケットの東側に、事業費七億六千万円で平成二十六年予定。「火葬場」は、親志砂良原に、九億円で二十六年～二十七年年度。「古堅給食調理場」は、読谷調理場南側に、十億円で二十七～二十八年度予定。「総合情報センター」は、役場南側に、十億円で二十八～二十九年度予定。「歴史民俗資料館」は、現在の場所を建て替え、十億円で平成二十九年度以降予定。「地域振興センター」・「歴史民俗資料館」は一括交付金活用を検討。三件で事業費二十九億円になり、平成二十四年度末起債(借金)残高七十二億円で平成二十九年度の想定は百一億円見込み。



國吉 雅和



ファーマーズ東側に建設予定の地域振興センター(予想図)

問 五・六年先の財政状況は

答 現在の借金率(実質公債比率)三、七%が八、〇%になる。財政運営は厳しくなるので補助金や事業規模優先順位の選択が必要。

問 教育の日について

答 子ども芸能祭、児童作品展、学力向上実践報告会等の数々の事業の充実・発展を図る。二月第一土曜日の「教育の日」は、教育講演会や教育功労表彰式等計画。

問 行政区等改善について

区運営費用と自治会運営費用を交付する。
問 交付金の内容は
答 以前の納税奨励金の部分(約一千万円)を増額し、積算根拠は均等割・世帯割・人口割とし、役員の常駐・各種団体の活動・芸能活動・地縁団体・自主防犯会等各自治会の自主性を尊重した制度の仕組みづくり。交付金額を一月末までには提示したい。

可外保育園児で保護者が共働きの園児人数は四一九人
問 公立保育園での土曜の午後保育と延長保育は。
答 土曜の午後も預かり、朝夕の三〇分延長保育実施予定。

問 県の待機児童解消家族プランに対する取り組みは。
答 ゼロ歳児・低年齢対策と配置基準以上の保育士任用を検討している。

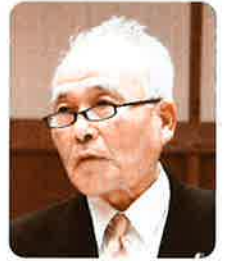
提案 すこやか保育園(波平在)が認可希望なので調査検討を求める。

問 特定健診について

答 波平・高志保・宇座・大湾・親志が毎年受診率ベスト十位です。

問 国保会計と将来の展望は

答 国保会計は収入が医療費の伸びに追いつかず、かなりの赤字が予想される厳しい状況です。健診受診率、特定保健指導率を高め地道にできることを継続する。



照屋 清秀

一、水質汚濁防止

法改正による生活

排水対策として

(a) 行政の責務は

答 市町村は生活排水対策や生活排水処理施設等の整備、その他の生活排水対策に係る施設の実施に努める。

問 長浜地域への生活排水処理施設は

答 南部地域の流域下水道と楚辺地域は実施。北部地域は何分割して処理する構想。

(b) 村民の責務は

答 何人も公共用水域の水質保全を図ると共に、国、地方公共団体の生活排水対策実施に協力しなければならない。

(c) 法改正後、単独処理槽から合併処理槽に変わった経緯は

答 平成十二年法改正によりトイレ排水処理から、生活雑排水処理の合併浄化槽の設置へ移行。既存の単独処理槽を合併処理槽への転換等に努める。

(d) 本村の浄化槽設置事業補助金交付要綱の制定に至った経緯は

答 環境保全に対する意識啓発を図り、生活排水による公共用水域の水質汚濁防止する為浄化槽の転換に対し補助金を交付。

(e) 浄化槽規模に対する補助額の根拠は

答 環境省基準及び中城村、南風原町、南城市等参考。

(f) 補助金交付の実績は

答 問い合わせ等あるが交付実績ない。

二、雇用主は村民

の視点から村民目

線でのサービス提

供できる職員育成

について

(a) 村民サービス提供の為の新採用職員の研修は

答 採用時の研修実施。県内市町村新採用職員対象にした研修の実施等。

(b) 研修結果の課題と成果は

答 研修終了後、報告書の提出義務化。課題としてその後のフォローアップ研修が充実されてない。

(c) 村として職員のあるべきイメージは

答 全ての職員が奉仕者として自ら人格教養を高め柔軟な発想で地域の実情や時代に即応する公務員たる資質を培わせること。



職員研修の様子

三、喜名集落から

の児童生徒の通学

路について

問 村として児童生徒の通学路及び村民の生活道路としての対応策を

答 親志波平線交差点部分は信号機が設置されてなく設置を要請していきたい。



津波古菊江

問 大湾公民館前中通りから古堅への一方通行道路の大湾五六九番地から大湾五二七番地五までの県道十六号線へ抜ける私道の村道認定の進捗状況について伺う(二〇一二年六月議会に次ぎ再質問)

答 平成二十四年度に道路概略設計委託業務を実施し、嘉手納警察署や沖縄県警察本部との基本的な協議も整い、村道認定に向けて協議内容を踏まえた庁内議論をして決定し、平成二十六年三月の議会で村道認定の議案に上げたい。

う(二〇一三年三月議会に次ぎ再質問)

答 建物構造の調査を行い、簡易な工事内容を検討したが、高台にあるセララ苑は台風時の強風を考慮し耐久性のある本格的な改修工事を平成二十六年に対応出来る様に検討する。



暑さと寒さ対策が必要なセララ苑

問 セララ苑での告別式参列の際の暑さや寒さ、風対策の必要性の調査の進捗状況について伺

問 第三子からの給食費無料化について

子育て支援策として女性の就業率も高くなっているが非正規雇用形態の就業状況が続く現状では特に子育て世帯にかかる経済的負担は大きい。親支援の観点から第三子からの給食費無料化についての見解を伺う。

答 (村長) 三三九人の給食費の無料化は一千五百万円以上の予算となる。次年度は延長保育で三千万円余りの経費がかかる現状もある。給食費単独ではなく、就学援助費トータルの中で読谷村の子育て支援に最大限の努力をしていく。

問 小中学校の屋外トイレの設置について

読谷中学校の屋外トイレの設置は利便性が高いと村民から評価が高いが、村内各小中学校のトイレの数は足りて

いるか。又、洋式トイレの設置も必要だと思いが見解を伺う。

答 行事の際は体育館や教室のトイレを開放している。古堅中学校の和式トイレの一部を洋式トイレに変えていく。古堅南小学校、読谷小学校も洋式トイレに年次的に予算措置しながら検討していきたい。

問 庁舎内トイレのハンドドライヤーの設置と温水洗浄便座の設置についての見解を伺う。

答 ハンドドライヤーの設置については、一階部分で検討している。温水洗浄便座の設置については今後検討していく。必要性は感じている。



大城 行治

役場職員の人材

育成について

問 基本的な考え方は。

答 すべての職員が、村民全体の奉仕者として、自らその人格及び教養を高め、柔軟な発想で地域の実情や時代に即応する公務員たる資質を培わせることである。

問 課題は。

答 業務が多忙な職員に研修を受講させる仕組みづくり、その後のフォローアップ研修を行う事。

※職員が能力を高め、地域住民に満足度の高い行政サービスの提供とスピードアップを図ることが、行政が行う人材育成である。今後

とも積極的に取り組んでほしい。

住民サービスの

更なる施策について

問

村民からの問い合わせ、その対応は。

答 「投書箱」は、平成25年度、11月現在五十件、月平均6.2件。「ホームページ」平成25年度11月現在、125件、月平均15.6件。住所、氏名、電話番号記載のある者は、可能な限り事実確認を行い、主管課へ引継ぎ、対応している。主管課においても、問い合わせについては、真摯に対応している。

問 「すぐやる課」を設置して住民の様々な要望・苦情に対応している自治体があるが、どう考えるか。

答 県内にも三市町で「すぐやる課」を設置している。

すぐ現場で確認をして対応するというのは住民にとつては安心感がある。又、課題もある。読谷村においても全体的な機構の中で検証の余地はある。

健康増進センター

の温水プールについて

問

利用状況は。

答 一日平均、平成23年度113人、平成24年度108人である。

※開設から六年近くになる。村民の健康維持にも大きく寄与している。最近、塩

問 「鳳バス」を嘉手納町まで運行するための可能性と課題は。

答 コミュニティバスの運行については、地域公共交通会議で承認される必要があること。様々な問題も多いことから、嘉手納町と連携した運行は難しいと考える。

※嘉手納町にも、コミュニティバスの導入を考えている議員がいる。今後ともいろいろ議論をしていきたい。



早急な住民サービスを行う「すぐやる課」東京都葛飾区



比嘉 郁也

村民健康づくりについて

問一 平成二十四年度の特
定健診受診率の目標は達成
されたか。

答 真栄田健康環境課長
平成二十四年度の目標値
は六十五%でしたが、
本村の受診率は四十二・七%
で未達成となりました。

再質問 目標達成ができな
かった事について原因の分
析とその総括はしたか。

答 受診率目標達成の取り
組みの中で、負担金を無料
にし、人間ドック補助金を
四千円引き上げ一万六千円
に予算対応し、ナイト健診
を実施してきましたが、各
市町村の実績を見ますと、
六十五%は高い数値ではな

かったかということでは第
二期からは、国の設定は六十
%になっているところだ
が村民の健康維持という観
点から、どんどん上げてい
くという形でやっていきます。

問二 平成二十五年度の第
二期計画の取り組み状況は。

答 平成二十九年度を最終
年度として新たな五ヶ年計
画が開始され受診率達成の
目標値は六十%となりまし
たので毎年三%の向上を目
指してまいります。取り組
み状況は、「健康づくり村民
会議」等の連携による受診
勧奨等事業主健診の実態把
握等を行い、「読谷村元気な
村づくりクーポン」を配布
するなど平成二十五年度は
目標値を五十%として、取
り組んでいる。

再質問 読谷村元気な村づ
くりクーポンの検証は。

答 まとめとしてはやって
おりませんが、多くは良か
ったという声は聞いていま
すし、効果はあったと思っ

つたかということでは第
二期からは、国の設定は六十
%になっているところだ
が村民の健康維持という観
点から、どんどん上げてい
くという形でやっていきます。

自然環境再生プログラムの作成について

問一 オニヤンマ、アカト
ンボ、モンシロチョウ等、
数十年前の普通の情景が失
われている。再生の調査に
取り組んでどうか。

答 沖縄県では失われた自
然環境の把握に努め、再生
に取り組み「自然環境再生
指針」を本年度策定しており、
その内容等を踏まえ、対処
してまいります。

問二 それら生物の村内に
おける、生息生育環境は。

答 基地返還に伴う開発等
や生活排水が環境への影響
により減少していると考え

史跡案内にガイド ングレシーバーの導 入を

答 仲宗根文化振興課長
利便性がある機器であり

二ーズや利用方法について
調査してまいりますと思う。

陸上競技場周回路の ゴムチップ舗装は施 工できないか

答 玉城生涯学習課長
運動による膝などへの負
担を軽減するために、多く
の村民が野球場周回路を利
用しており、陸上競技場は
今後検討。



平和の森球場周辺の
ゴムチップ舗装路



長浜 宗則

村内のAEDの設 置状況は

問一 村内の公共施設の設
置状況は27箇所。

問二 公民館のAEDの設
置予定は。

答 財源は特定防衛施設周
辺整備事業交付金で予定し
ている。具体的な調整はこ
れから。

AED (自動体外式除細動器)を各公民館に!



読谷村の農業政策 から

問一 読谷村の認定農家数は。
答 14名で年齢は20歳から
69歳で、主な作物は観葉、
小菊、サトウキビ、野菜、
養豚、肉牛である。

問二 平成24年度の花弁類、
サトウキビ、甘藷、野菜類、
畜産の売り上げは。

答 花卉類12億300万、サト
ウキビ1億302万、甘藷1億
900万、野菜類1億311万、畜
産3億200万。

問 担い手農家の育成は。

答 読谷村担い手育成総合
支援会議を中心に取り組ん
でいる。具体的には担い手
となる農業者への補助事業、
新規就農者への青年就農給
付事業、農業簿記講座、農
業経営改善計画策定の支援
等がある。

学校教育から

問一 古堅中学校舎の遮光カ
ーテンの設置状況は。

答 沖縄振興特別推進交付
金で26教室に取り付けを予

定。工期は平成25年11月から平成26年1月31日迄を予定している。

再問 大変眩しく授業に支障をきたしているので早急な工事できないか。

答 三年生は受験もあるので三年生の教室を早急取り組む努力をする。

問二 児童生徒に徒歩通学の推奨をすべきでは。

答 児童生徒の発達面や体力の向上面で有効であるので教育委員会は推奨している。

読谷村の保育状況から

問一 読谷村の潜在待機児童数は

答 平成24年度の推計から読谷村は26名で平成25年度に一園認可、一園改築で、90名定員増、読谷村は17名となります。

問二 認可外保育園の固定資産税の減免は出来ないか。

答 地方税第三四八条、読谷村条例第七十一条の規定により減免できません。

問三 新たな認可保育園の計画は。

答 新たな認可保育園の計画はない。認可園を増やすという事には財政的な課題があるので待機児童の推移をみながら慎重ににやるべきと考える。

問四 保育コンシェルジュを配置できないか。

答 現段階では職員で対応していきたい。

読谷村の文化行政から

問一 三味線の聖地である読谷村を県内外、世界へ発信し活性化を図る目的で読谷村赤犬子古典音楽伝承者認定「うふにし大賞」の設立を求む村民の声があるが当局の考えは。

答 大変意義のあるものとして理解している。日本一の村として三味線文化の発信事業を検討しているところであり今後関係者と協議したい。

問二 村道大木く古堅線の舗装工事の用途は。

答 道路ストック総合点検結果や財政状況を踏まえて、検討していきたいと考えている。



當山 勝吉

一 読谷補助飛行場跡地について

場跡地について

問一 読谷補助飛行場跡地の取得した経緯について伺います。

答 平成14年7月先進農業支援センター用地を売買等により取得、平成18年7月と平成19年1月SACCO合

意による返還後、村有地と等価交換等により取得しております。

問二 取得した総面積及び計画面積（非農地、農地、道路用地、国道予定地）を伺います。

答 総面積は等価交換、無償貸与、里道等の譲与、売買取得地を含め249坪であり、計画面積は非農地が63坪、農地が約165坪、道路用

地が約151坪、国道予定地が約8.1坪となっております。

問三 読谷補助飛行場跡地の現在の土地所有者名義を伺います。

答 現在の土地所有者名義は読谷村と国道用地の財務省となっております。

問四 読谷補助飛行場旧地主で組織している、五農業法人と所有権回復地主会を

読谷村はどう対応しますか伺います。

答 所有権回復地主会は五法人と旧地主会との調整役を担うと認識しております。

再問 等価交換した村所有の軍用地面積と補助飛行場跡地面積を伺います（坪でお願いします）。

答 軍用地は四七五〇〇坪で、飛行場跡地は約六七五〇〇坪であります。

再問 国よりの無償貸与について伺います。

答 中央残波線含め六本の村道等の無償貸与であり面積で四六〇〇〇坪であります。工事完了後に無償払い下げの段取りになっております。



読谷飛行場跡地等価交換による事業実績

正されたことに踏まえ地域防災計画に取り組んでおります。

問二 防災計画で知的、身体、精神障害者の対応計画について。

答 平成24年度に高齢者、障害者のための要援護者避難支援計画を策定致しました。

問三 学校関係の防災避難訓練について。

答 村内各学校では毎年防災計画を作成し、避難訓練を行っております。

問四 地域支え合い活動と防災活動計画との関係について。

答 防災計画とは直接的には関係ありませんが、災害発生時において避難誘導や安否確認が円滑に行われると考えております。

防災計画の現状について伺います。

答 国、県の防災計画が修



伊波 篤

防災無線について

問 ①現状の課題は何か。
②防災無線からの放送が聞こえにくい地域があるとの声があるがその対処について。

答 現状は、アナログ放送のため、今後はデジタル放送への移行が課題である。防災無線が聞こえにくいとの意見が寄せられた場合は、現地調査を行い、スピーカーの角度調整等を行って対応してきた。風向きによっては聞き辛い地域があることは認識している。現在の防災無線固定局は、アナログ放送で、メーカーが製品を製造していないため、増設も困難な状況である。デジタル放送への移行の際に調査をし、見直しをしておく予定です。

グッジョブ・サポート読谷について

問 ①事業実施の許可は。②就職相談時間の延長ができないか。③日曜日の事業実施ができないか。

答 月平均で165名の利用で、確認できた利用者の就職率は40%である。相談窓口の開設日を週三回に増やし、嘉手納町と協定を締結し、相互の相談窓口を利用できるようにになっている。②及び③についてはご提案として受け止めさせていただき今後、調査、検討を行っていききたい。

再問 調査、検討の具体的な案はないか。

答 相談者に対するアンケートで希望する開設曜日、時間帯があるかという項目を追加した。そのほか一度テストパターンとして延長してみるなど、役場は日曜閉庁になっているので、

臨時的に日曜開設を別の場所で行うことができないか今、検討しております。毎月使っているチラシを使って周知をし、どの時期にできるかということも検討しながら、一度テストパターンで実施してみたいと考えております。

では魅力のある場所と考えます。店側としては汚くないのは当然嫌だろうと思えますからそのあたりをどうクリアできるか話し合いを持ちたいと思います。食品トレイも回収業者及びコンビニと可能性について話し合いを持ちたい。

コンビニエンスストアとの協働について

問 ①店舗にAED設置の考えはないか。

②村が回収ボックスを設置し、食用廃油の回収システムを実施する考えはないか。

③村が回収ボックスを設置し、プラスチック食品トレイの回収システムを実施する考えは

答 AEDの設置は考えはない。各家庭からの食用廃油の回収場所とし



スーパーに設置されている回収ボックス



山城 正輝

断固反対
村民が目口耳をふさがれ、スパイ扱いされ、監視される暗い社会になり、戦争する国づくりに直結するという特定秘密保護法に反対すべき事

問 政府の軽自動車税引き上げの動きをどう認識しているか。
答 消費税を10%に引き上げる時に、自家用が5割増、営業用が2.5割増、ミニバイクは千円から二千円になると思われる。所有率は一世帯に一台以上である。根本に立ち返り議論すべき。

問 軽自動車税は、村税であり、増税すべきでないと考えるがどうか。
答 議員の皆さんも含めて、たくさん議論していきたい。

問 私は村民として、村行政村会議員としてどういうことになっていくのかに焦点を当てて聞きたい。

答 機密を取り扱う職員に人権侵害がないか心配、政府が情報を流してくれるか不透明である。デモ行動に規制をかける圧力が出てくることが心配される。

横田自治会（ハイランド）
入口村道の路面を応急手当されたことを評価し、抜本的改修すべきことと
課長「検討していきたい」

問 ヘアサロン豊付近十字路が痛んでいる。子ども達の横断歩道にもなっており、抜本的対策が必要ではないか。

答 応急処置はした。現在行っている道路ストック総点検の結果や財政状況をふまえ、検討する。

⇩村長「議論したい」
消費増税に加えて軽自動車税の引き上げによって村民の暮らしを圧迫することに反対すべきこと



横田自治会（ハイランド）入口の補修必要な道路

は平和の森球場で予定しており、心配かけることはないと考えている。

村長とトリイ米軍基地司令官等との「フレンドリー」なつきあいは、基地被害を受け続けている村民に誤解を与えるものがあり、中止すべきではないか村長「信頼関係を醸成するアンテナはもっておくべき。」

読谷まつり花火による座喜味一班地域の噴煙騒動を改善すべきこと村長「深くおわびします。」

問 まつりの花火は、村民に歓迎され、評価している。

その中で今回の被害状況をどう認識し、来年以降の改善策をどう考えているか。

答 道路、民家の庭先、畑に包紙が落ち、花火の煙や音で不快感を与えた。皆様からは「近すぎて怖かった」の指摘があり、ご迷惑をおかけ致しました。来年から

村内文化財の保存活動をすべきこと村長「今後努力する」

オリピック選手誕生を目指した指導をすべきこと村長「村民のおおの立場で頑張っ頂けたら」



伊佐 真武

一、国道読谷道路及び嘉手納バイパスについて

問 各区間の進捗状況と嘉手納バイパスの現状は。

答 国道58号親志から県道12号線間は、調査、設計、工事用道路の整備を実施。中央残波線から県道6号線間は一部工事に着手し、大木地内において県道6号線切り直し道路工事を実施。県道6号線から県道16号線までの区間は本線の調査、設計を行っている。

問 嘉手納バイパスについては地元が反対している現状がある事から、地域の発展につながる様な施策の必要性など、自治体側と国側との共通認識をつくる協議が必要と思えますがどうでしょうか。

答 これは国道ですので、通過するその他地域住民との充分なるコンセンサスが得られる様に施工者は努力していただきたいと思えます。そして要請の件は中部市町村会や国道協会から建設促進のための要請行動等は行っているが他の議論も再度検討してみたい。

二、国道58号大湾交差点の朝夕の交通渋滞について

問 交通渋滞の軽減策は。

答 根本的な対策としては国道読谷道路を含む沖縄西海岸道路の開通と考える。

問 ドライバーにとつて一日も早い渋滞軽減を求めている。大湾東地区の大湾東2号線、比謝牧原線が開通すれば渋滞軽減につながるが、より早いのは大湾交差点を改良し、信号調整してはどうか。

答 現在、特に大きな課題はありませんが、字によ

答 牧原線をつくる時に、大湾交差点については、関係機関と協議して現在の交差点の形態がある。協議は可能と思えますが形状を変えることは難しいのではないかと思います。

ては事業の熟度を高めていくのに時間がかかる場合がある事から年度の早い時期から調査に入る事が望ましいと考えます。

四、村内中学校のテニスコートについて

問 生徒の部活動はグラウンドのコートで行われている。試合場は人工芝である事から本村中学校のコートも人工芝がふさわしいと思えますがどうですか。

答 各学校での人工芝の整備が進まない状況には高額な費用がかかる事が要因と思われる。慎重な検討が必要

問 古堅中学校のコートは水はけが悪い上、整備もされていない。防球ネットも問題がある。対策が必要では。

答 各学校の要望を受け年次計画をしながら教育環境を整えるのが仕事。頑張りたい。



朝夕の渋滞の早期解消を！

三、字別構想推進アドバイザー派遣事業について

問 大変意義ある事業ですが課題はありますか。

答 現在、特に大きな課題はありませんが、字によ



当間 良史

行政サービス向上について

問 人口4万人を超え多様な化する村民サービスの対応は。

答 職員研修等を充実させ村民ニーズの把握、親切丁寧な窓口での応答等一人一人の知識とコミュニケーション能力の向上を図り、組織の在り方を検討し実践していく。

問 窓口業務をスムーズに行う為フロアマネージャーを設置しては。

答 現在フロアマネージャーを実施している市町村の実態調査を行い、受付業務の充実を計りたい。

問 村民の声(アンケート等)は、どのように対応しているか。

るか。

答 庁舎内に設置されている投書箱に投書された内容は一度企画財政課で取りまとめ、氏名等が記載されている場合は可能な限り事実確認を行い主管課で対応している。

問 庁舎1階のトイレに手拭き用のタオルペーパーを設置して欲しいとの声があるが、村の対応は。

答 庁舎1階のトイレについては、来年度予算にて整備を考えております。



住民に利用し易く工夫されたサービスカウンター(東京都葛飾区)

座喜味区内側溝の悪臭について

悪臭について

問 村民より座喜味ココソトア近くの側溝の臭いがひどいとの苦情が出ているが。

答 同側溝からの悪臭は、食品会社の排水に由来しており、以前から苦情があるたび改善の申し入れを行っているところであり、今回の件は排水を薄める地下水が枯渇したことに加え、新たな地下水のボーリングの為消臭剤が投入できなかつたことが考えられます。今後の対策は排水濃度の希釈化及び消臭剤の投入を行い対応していく。

問 同地域にて土砂崩れの恐れがある場所があり対応を求める。

答 土砂崩れの恐れのある場所は座喜味板針原の排水路に面し、赤土が露出して崖地となっております。対応としては、県の長浜ダム関連事業として対策がとれな

いか申し入れているところであり、今後の状況を注視していく。

景観計画について

問 平成21年に景観計画が施行されましたが、震災後の見直しは。

答 景観計画と防災計画は直接関係するものではないと考え、震災に伴う計画の見直しはありません。

問 座喜味城周辺の環境保全の見直しは。

答 景観計画の方針において「座喜味城跡をシンボルとする景観形成」と位置づけ、地域の皆様の協力をいたしながら景観地区指定に向けて取り組んでいきます。



嘉手 莉林 春

一、大湾交差点の交通渋滞について

問 根本的な改良が必要である。国に対して強く要請すべきである。

答 南部国道事務所に整備要請を重ねて行っていく。

問 立体交差点にすべきという案もあるが。

答 交通量等も含めて検討する必要がある。

二、喜名側飛行場跡地の残地について

その位置づけは

答 公園緑地として地区広場整備が位置付けられており、一括交付金を活用していく。

四、ハイランド開発公園に公衆用トイレの設置はできないか

答 都市公園整備事業等での整備は難しいと考えているが、どのような対応策がとれるか調査したい。

二、親志地域の公園整備はどうなっているか

しているか

五、読谷大学の今

後の方向性について

答 ①地域活性化に向けた取り組みを実践できる人材の育成。
 ②新たな村づくりへの取り組みを行う協働の担い手の育成。
 ③ネットワークづくりの場。
 ④人材を活用した新たな創造発展に向けた村づくり等をめざして、講座を開設していきたい。

答 残波岬サッカー場へ、プロスポーツキャンプ、少年サッカー大会、その他指定管理者と議論しながらより魅力的な地域となるよう取り組んでいきたい。



六、残波岬いこいの広場地域のさらなる観光客の誘致策は

スポーツ誘致の
 ツイートの
 プロモーション
 キャンペーン
 残波岬の
 広場

一、旧読谷飛行場のアクセス道路の進捗状況について

問 一、旧読谷飛行場のアクセス道路の進捗状況について

答 早めに整備すべき路線で事業を進めているが、国の補助が県内市町村道の配分減になるとの事で県と協議し、計画の見直しをした。

問 二、中央残波線と沖繩北インター付近への道路整備の県の考え方はどうか。

答 県委員会の回答で、読谷沖繩市と共に関係する沖繩防衛局等に相談するとの事。

二、本村各小学校の夏休み等を利用した学習支援について

答 今年の夏休み「児童生徒の学力向上」「先生方の地域理解」の目的で各字公民



知花 徳栄

館へ小学校の先生方を派遣し、学習支援を初めて実施した。今後の目的達成に期待する。



三、伝統文化の継承取組みについて

問 一、各地域の伝統芸能の育成と支援策について。

答 まつりや、民俗芸能祭等、披露の場の提供、映像記録保存事業も行っている。

問 二、学校教育での取り組みは。

答 村内全ての学校で積極的に取り組んでいる。

問 三、今後掘り起こせる芸能について調査も必要と思うが計画あるか。

答 各字芸能の継承状況等

の実態調査を実施したい。

四、弾薬庫地域や海岸沿いの茂みに不法投棄が見られるがその対応策は

答 地権者や管理者の責任になるが、村は立看や広報等で周知を行っている。今年から監視カメラを6台設置する。

五、古堅地内縦道路(旧古堅公民館沿い含む四本)の賃借料は字の負担が重く、戦後処理の一環として支援策は

答 年間39万円余りの賃借料は重いと思う。支援策については古堅区の経緯や対応を調査、検討したいと考える。

六、村道の交通安全対策について

問 一、村内各地域で車のストップライン(白線)が無

い所が多く、村民要望が強いこと。

答 村内の学校周辺は、区画線、停止線の引き直しを毎年行っている。新規を設置する際は公安委員会の許可が必要、村道等の区画線がない所は要請に基づき、公安委員会の許可を受けて区画線引き工事を行います。

問 二、渡慶次と波平線の渡慶次側十字路にカーブミラーが無く、危険を感じるが、再設置を行いますか、道路拡幅により設置場所の移動があり、片面反射鏡の設置となりますか。

七、読谷道路の開通に伴いドリフト行為の車輦が深夜にあり、周辺の地域に大きな迷惑があり、対処策は

答 交番署員が区長会へ出席の場合に取り締り要望を受け、署員が現場の巡回を行っている。今後も繰返しがあれば、更に取締りを強化して行くとの事でした。



上地利枝子

問 「しまくとぅば」の普及について村としての取り組みは

答 「しまくとぅば」で語った字ごとの民話集を発刊、代表的な民話については紙芝居に仕立て、今年度は絵本とCDにおさめた教材を制作中。村文化協会では、毎年児童生徒から大人まで参加いただいているスリー語やびらしまくとぅば大会をこれまで22回開催している。

再問 文化センターの講座の中で「しまくとぅば」の普及の為、指導者育成の予定はないですか

答 次年度はぜひ開催していきたいと思えます。



スリー語やびらしまくとぅば大会の様子

問 県教育庁が保護者を対象とした「児童生徒の生活実態調査」の結果を公表したとありますが、本村の児童生徒の実態について伺います。

答 この調査は市町村別の統計は集計してないのとこのとでございませう。

再問 調査結果の報道では

部活動が過剰になり、児童生徒の学力低下につながっているところがありますが、教育長として本村の子ども達の現状についてどのようにお考えですか伺います。

答 子ども達の育ちに部活動が果たす役割は非常に大きいものがあります。子ども達を指導している皆さんには本当に頭が下がります。特に小学校の部活動をしている皆さんはほとんどが地域の皆さんで、そういう意味ではとても地域の皆さんに支えられていることに大変感謝申し上げます。部活動をしているから教科の成績が下がるというのはあつてはならないと思つています。いかに両立するか、やっぱり部活動で頑張っている子は勉強も頑張っているところは大きいですね。そういう意味では、部活動と勉強をいかに両立して、バランス良くするかということもまた育ちの中では大事な部分だと思つたので、そういう意味では子ども達がいろいろなることにチャレ

がいろいろなることにチャレ

問 母子家庭生活支援事業について本村として取り組み予定はないですか

答 母子家庭の子どもの身の健全な発達等を支援する為、さまざまな課題を抱えて困窮している母子家庭に対して、就労や子育て支援など生活援助を行いながら、自立した生活が送れるよう支援する事業で、村独自の設置は負担が大きく厳しいものがあり、現在、中部広域市町村圏事務組合が中心となつて設置できないか議論を始めたところでございます。

ンジすることはとても大事なことで、私達も温かい心で応援しながら頑張らせていきたいと思つています。

問 「がんじゅう教室」の成果について

答 過去三年間で63%の方が介護保険サービス利用への移行を防ぐことができた。



山内 政徳

問 一、都屋近くのマックスバリュの前、の県道に信号機の設置について、現在の状況はどうなっているか。

答 嘉手納署へ要望しておりますが現時点では設置がいつになるか答えられないとの事でした。

二、波平公民館近くの旧読谷保育所跡地の利用計画はどうなっているか。

答 具体的な跡地利用が決まるまでの条件で波平区へ他目的の広場として利活用いただいているところで、具体的な跡地利用計画は現在のところありません。

三、待機児童対策（認可促進）で県の動きがあるが、本村にも影響はあるのか。またゼロ歳児の対策はどうなっているか。

答 課題であるゼロ歳児の保育についての対応を当該交付金で実施できないか調整を県と始めた所です。

四、旧読谷中学校跡地はどうなっているか。



都屋マックスバリュ前に信号を！



答 用途地域の見直しや地区計画の策定に向けた作業を行っているところです。

七、火葬場建設予算のめどはついたのか。

答 全体事業費9億900万円特定防衛交付金1億5000万円起債5億5000万円基金積立金より2億円を予定しております。

五、健康増進センター内の温水プールの水処理について、現在の考え方は、αトリノ水の利用は考えられないか。

答 製造装置の設置場所、導入費用と装置保守費用の問題から今のところ考えておりません。

六、現在のコンビニ二利用拡大は。ほかにも利用推進は考えられないか。

答 南風原町では住民票とか印鑑証明をコンビニでとれる仕組みをつくっておりますが、本村は今検討はしておりません。

八、津波震災の現場に多くの村民に見てもらおうべきと提案しましたがどのように実施し、どのような感想や意見があったのか。

答 平成25年10月1日から4日まで職員9人、区長12人、消防職員1人計22人岩手県遠野市での研修し釜石市大槌町を視察、遠野市が災害を予測し大規模な訓練を実施していたことがあり防災訓練の大切さを実感研修につぎましては次年度も予定しております。



城間 勇

一、嘉手納バイパス読谷道路の進捗状況について。

問 南部国道事務所が今年九月に陸上案を撤回し、海上案に戻す説明が嘉手納町にあったと新聞に掲載されておりましたが。

答 嘉手納バイパスは、海上案も含め再検討を行い、地元関係機関と調整を進めてまいりたいとのこと。

二、渡具知の温泉付きりゾートホテル建設について進入路の村道認定に向けて頑張っていたきたい。

問 渡具知区から村道認定の要請が提出されております。当該道路の果す役割は①土地改良区外周道路との連結

による交通便利。②木綿原海浜へのアクセス道路。③泊城公園と連結しての海浜散策路及び土地改良区外周と連結することによる健康づくりウォーキングコース。④温泉付きりゾートホテル建設における建築確認のための条件整備。⑤ホテル立地に伴う地域経済活性化であります。

答 今後、地域の意見を拝聴しながら、関係機関との意見交換をしながら、その他の手法の有無も含めて検討をさせていただきます。南部地域の振興策のひとつとして、総合的な見地から検討していきたい。現行法の中ではいろんなクリア課題がございますけれども、ぜひ地元と意見も交換しながら検討していきたい。

いか。あるいは、里道等と交換できないか。

問 古堅区の問題は戦後処理の一環として対応するよう村議会からも政策提議、提起として議長名で村長に提案されております。四本の生活道路とも片側部分のブロック掘の物件補償すれば、全幅員四、五メートル確保ができると思います。村民が戦後六〇年間、またこれからも村民が利用していく道路でございますので、村道認定して整備すべきだと思います。

四、県営比謝団地の下水道への接続について。

答 県住宅課は、補助金を使用して浄化槽撤去とあわせて接続工事を行いたいとのこと、工事は次年度の予定。

五、一括交付金で読谷村の海岸線のモクマオから村木のフクギに植替えては



古堅地域の生活道路の改修を

三、四本の生活道路に年間約三十九万円を古堅区で負担している地料、坪五百円から千円になっている。村で買い上げできない

村議会としての政策提起

項目

1. 大木地区における一部防災無線放送が聞き取りにくい地域があり、増設を含む改善を行うこと。
2. 村道大木～古堅線において、雨降りあとに水たまりが出来る等があり、早急な整備を行うこと。
3. 読谷村診療所で透析治療が実施できるよう方策を講じること。
4. 古堅区が負担している4本の生活道路の賃貸料の現状を調査し、戦後処理の一環としての村の対応を求める。
5. 波平団地周辺及び村道への路上駐車状況を調査し、交通安全の対策を行うこと。
6. ソフトボールのメッカである読谷村に専用のソフトボール場を建設すること。
7. 朝の出勤時を含め、喜名公民館から大湾交差点まで交通渋滞している。国道の中央分離帯の活用をはじめ早目の改善を求めたい。



防災無線の増設・改善



生活道路の賃貸料現状調査



大湾交差点の交通渋滞改善

傍聴へ行こう！

平成26年3月定例議会は3月4日(火)からの予定です。

◎議会の日程についてホームページでお知らせしております◎

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitan.jp>

〈お問い合わせ〉

議会事務局 TEL 982-9225